

氏名	石岡俊之	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	作業療法学 行動神経科学				
学位	博士(障害科学)				
学歴	2006年東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻博士前期課程修了, 2009年同後期課程修了				
経歴	2009年埼玉県立大学講師, 2016年埼玉県立大学准教授				
所属学会(役職)	Society of Neuroscience, 日本神経科学会, 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本作業療法士協会, 認知神経科学学会, 埼玉県作業療法士会(理事), 作業療法神経科学研究会(会長)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	作業療法OSCE基準マニュアル	単著	特定非営利法人理学療法・作業療法共用試験機構, 全169頁	臨床作業療法演習ワーキンググループ編集. 著者全11名.(本人担当部分)高次脳機能評価(pp.40～58), 身体機能評価(pp.59～82)	2015.7
(2) 論文					
1	脳卒中後うつ症状患者の活動量を高める行動介入の効果.	共著	日本作業療法研究学会雑誌. 18, pp.35-41	滝澤宏和, 石岡俊之, 田山淳, 富家直明, 中村裕美, 濱口豊太	2015.9.
2	記銘時の色光による情動の変化が再認に与える影響.	共著	埼玉作業療法研究. 15, pp.1-24	槻由夏, 石岡俊之	2015.11.
(3) 学会発表					
1	肘関節外傷・疾患術後患者におけるバイオフィードバック療法の有用性.	共著	第27回日本ハンドセラピィ学会学術集会(東京)	高橋里奈, 佐野和史, 木村和正, 石岡俊之, 濱口豊太	2015.4.
2	橈骨遠位端骨折患者における骨折手の自動運動機能の予測値と実測値の差異.	共著	第27回日本ハンドセラピィ学会学術集会(東京)	薄木健吾, 桑原慶太, 石岡俊之, 濱口豊太, 占部憲	2015.4.
3	バイオフィードバック療法の効果検証に用いる筋出力自己調整能力を示す指標の開発.	共著	第1回作業療法神経科学研究会学術集会(札幌)	高橋里奈, 石岡俊之, 佐野和史, 木村和正, 秋山洋輔, 濱口豊太	2015.7.
4	橈骨遠位端骨折後の高齢女性における患側手関節可動域の過小評価.	共著	第1回作業療法神経科学研究会学術集会(札幌)	薄木健吾, 石岡俊之, 上田宏明, 占部憲, 濱口豊太	2015.7.
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	体内力源型能動義手使用者の基礎的な義手操作技能を評価する指標の開発(研究分担者)			2014.4.～2017.3.
2	学長指定研究【企画提案】	光学式Motion Captureを用いた上肢・手指の片麻痺運動機能を自動測定するシステムの開発(研究代表者)			2015.4.～2018.3.
3	奨励研究(科研費コース)	加齢による主観的学習判断の正確性に与える影響(研究代表者)			2015.4.～2016.3.

3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	スタートアップセミナー	2015.4.-7.	講義の分担およびe-learning教材作成を行った.	
2	作業療法学概論	2015.4.-7.	科目分担者として高次脳機能の作業療法について1コマ講義を実施した.	
3	高次脳機能作業療法学	2015.10.-11.	科目責任者として講義を実施した.	
4	高次脳機能作業療法評価学	2015.10.-11.	科目責任者として講義を実施した.	
5	高次脳機能作業療法学特論	2015.10.-11.	科目責任者として講義を実施した.	
5	作業療法ゼミナール	2015.10.-2016.2.	ゼミ学生3名に対して実施した.	
6	行動神経作業療法学特論	2015.4-2016.2.	科目担当者として博士前期課程学生に講義を実施した.	
7	心身機能作業療法論	2015.4-2016.2.	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した.	
(2) 演習				
1	高次脳機能作業療法学演習	2015.10.-11.	科目責任者として講義を実施した.	
2	臨床作業療法演習	2015.12-2016.2.	教科書の執筆, および演習講義及びOSCE試験官を担当した.	
3	リハビリテーション学演習(行動神経作業療法学)	2015.4-2016.2.	科目担当者として博士前期課程学生に講義を実施した.	
4	心身機能作業療法演習	2015.4-2016.2.	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した.	
(3) 実習				
1	身体機能作業療法学実習(疾患別)	2015.10-2016.2.	科目分担者として神経変性疾患の作業療法について1コマ講義を実施した.	
2	臨地実習Ⅰ-1	2016.2.	科目担当者として中間訪問を実施した.	
3	臨地実習Ⅱ-1	2015.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した.	
4	臨地実習Ⅱ-2	2015.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した.	
(4) 論文指導				
1	修士課程	2015.4-2016.3.	主指導:2名、副指導:4名	
2	博士課程	2015.4-2016.3.	副指導:1名	
(5) その他				
1	香港理工大学短期留学プログラムおよびチューリッヒ大学アプライドサイエンス短期留学プログラム講義	2015.8	留学プログラムとして「認知機能に対するリハビリテーション」の英語による講義を実施した.	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	日本作業療法士協会現職者共通研修会	日本作業療法士協会	「9.事例報告」, 「10.事例検討」	2015.8.
2	札幌高次脳機能障害研究会 平成27年度特別講演会	札幌高次脳機能障害研究会	「腹内側前皮質(VMPFC)損傷による“現在”、“過去”、“未来”の結びつけの失敗」	2015.8.
3	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター主催研修会	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター	「高次脳機能障害による生活のしにくさとそのリハビリテーション」	2016.1.
4	埼玉県総合リハビリテーションセンター職員研修会	埼玉県総合リハビリテーションセンター	「パーキンソン病と非運動症状(認知機能障害と精神機能障害)」	2016.3.
5	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター主催勉強会	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター	高次脳機能障害者へのグループ訓練に対するスーパーバイザーとして参加	2016.3.
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	全国リハビリテーション学校協会	研修委員会委員	2014.4.-2016.3	
2	日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」編集協力者	2015.4.-2017.3	
3	日本作業療法士協会	日本作業療法学会演題査読者	2015.4.-	

(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教育開発センター		
2	研究推進委員会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	国際学術雑誌投稿英語論文査読(2論文)を行った. 第1回作業療法神経科学研究会学術集会を札幌にて大会長として主催した. 第25回埼玉県作業療法学会を本学にて事務局長として主催した.		